

地域振興推進費事業計画・自己評価書

提出区分	実績	整理番号	11	課題区分	C	令和3年3月31日	
横断的な課題	リニア新時代に向けた地域の持続可能性の向上					南信州地域振興局	
地域重点政策	豊かな自然・文化と共生し、人と地域が輝く南信州						
実施機関	南信州地域振興局			担当課	所属	環境課	
事業名	「環境先進地 南信州」らしいゼロカーボン等の取組の推進事業				電話	8-237-2324	
				E-mail	minamichi-kankyo@pref.nagano.lg.jp		
事業の概要等	目的 (目指す姿)	再生可能エネルギーの普及や循環型社会構築の気運を一層高め、行政・民間団体・市民といった多様な主体が協働して地球温暖化対策に取り組む環境先進地域を目指す。					
	現状と課題	当地域は、環境モデル都市である飯田市や企業、NPO等が再生可能エネルギー普及等の温暖化対策に取り組み、また地域全体でプラスチックスマート推進を宣言するなど、環境意識が高い地域であるが、2050ゼロカーボン達成、循環型社会構築に向け、多くの住民に再生可能エネルギーの価値や深刻な海洋プラスチック問題の現状を理解してもらう必要がある。					
	内容 (変更後の内容)	<p>○南信州環境フェアの開催(テーマ:ゼロカーボン社会の実現に向けて)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サブテーマ ①再生可能エネルギーの普及、②循環型社会の構築 ・日程 令和3年2月27日(土) ・主催 南信州地域振興局、飯田市。地域の団体や企業が共催・協賛する。 <p>環境フェアは、コロナの影響により気候変動対策シンポジウム(講演会、パネルディスカッション)のみオンライン開催し、「S・バード」を会場に計画していた展示や環境映画(DVD)上映などは新型コロナ感染拡大防止のため令和3年度に延期する。 また、太陽光発電設備等共同購入事業のPRについても、ゼロカーボン推進室からの指示で中止する。</p>					
	事業期間	令和2年12月		～	令和3年3月31日		
事業費等	(単位:円)						
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考			
	気候変動対策シンポジウム	講演会、パネルディスカッション	47,290				
	上記チラシ、オンライン開催経費	印刷費、切手代、オンライン設備等使用料・技術料	194,620				
	太陽光発電設備等共同購入事業PR	地元紙へ特集記事と広告を掲載する	0				
	合計		241,910				
指標状況及び達成	成果指標		目標値	成果	達成状況		
	シンポジウム聴講者数		200人	280人	● 達成 ○ 一部達成 ○ 未達成		
事業実績・成果	<p>○当日のシンポジウム聴講者は280人(Zoom216、Youtube64)であった。なお、Youtubeでアーカイブ配信しており、その後視聴数は456となっている。</p> <p>○オンライン上で実施したアンケート結果(回答135人)によれば、シンポジウムの内容に多くの人の理解が得られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①基調講演の内容について、「理解できた」+「まあまあ理解できた」 97.8% ②パネルディスカッションについて、「理解できた」+「まあまあ理解できた」 97.0% ③気候危機に対する意識について、「意識が高まり主体的に取り組もうと思う」68.1%、「理解が進んだがまだ何をしたいのかわからない」31.9% 						
今後の方向性	2050ゼロカーボン実現に向け今後も継続して開催することとし、次回は令和3年秋に今回延期した催物も含めて開催を計画している。						